東京大学都市工学専攻
八戸市中心市街地
学生ワークショップ発表会

2016 3.7-9

はじめに

- 人口減少・地方衰退の時代

- 活力ある地域として生き残っていくためのヒントを見出すために一地方を取り上げ、中心市街地が活力を保っていくための方策を提案

・八戸市を舞台に

「イノベーション」「ポップカルチャー」

「自然・文化・歴史」

の三班が提案を行った

イノベーション班

『はちのへ ”Co-Lab” プロジェクト』

―イノベーション拠点の設立、経済活性化と住民生活向上の両立―

ポップカルチャー班

『POP CULTURE　Planning on Hachinohe』

―若者が中心となって八戸をポップカルチャーのまちに―

自然・文化・歴史班

『公園の中にある駅』

―駅を公園に、中心市街地までの道を緑道に、風格のある街へ―

イノベーション班

はちのへ“Co-Lab”プロジェクト

福田崚・マティアスカイラ・本島慎也・新妻直人・竹内啓

発表の流れ

01 背景 ・ 資源 ・ 目標

02 指針 ・ コンセプト

03 “はちのへ Co-Lab”概要

04 まとめ

イノベーション班　発表のコンセプト

提案の背景：八戸の課題

- 人口減少
- 支店経済・分工場経済

→イノベーションにより解決を

➢ 市内の活用されていない資源に着目

漁業・工業

空き地
空き家

教育
(高校/大学)

- 八戸学院大学
- 八戸工業大学
- 八戸高専
- 千葉学園、八戸東など特色ある教育を行う高校

農業

高齢者

イノベーション班　発表のコンセプト

提言の目標

イノベーションによって八戸を活性化する

- 金銭的に豊かに
- 市民のQOL向上
- 街のイメージ向上

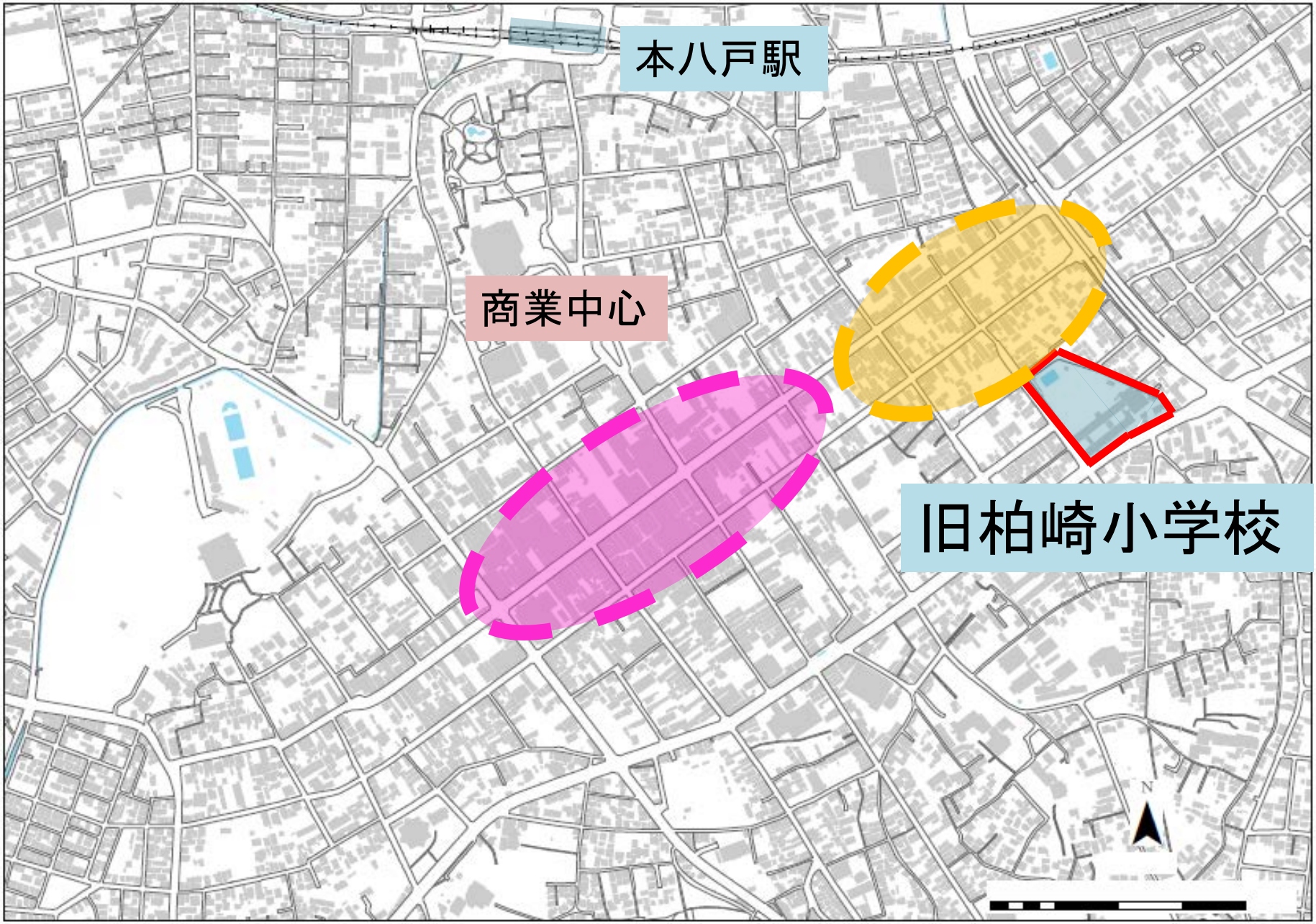
01 イノベーションを生み出す拠点をつくる

- ◆ 地域の生産性を高めるIT産業などを呼び込む
- ◆ 地元の人の起業の場を作る

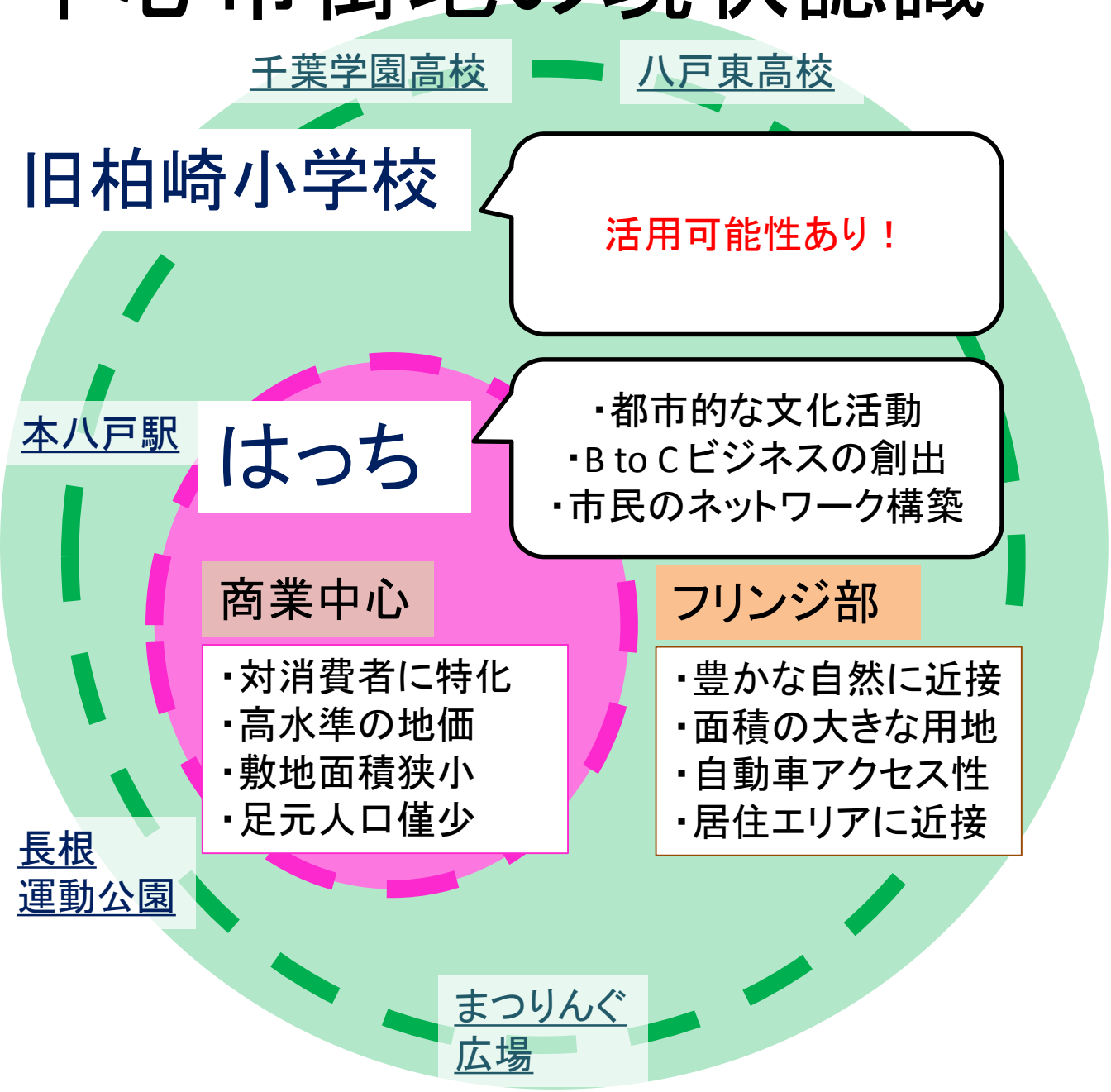
02 ネットワークにより相乗効果を生む

- ◆ 大学や高校との連携
- ◆ 既存産業にITを付加することによる生産性向上

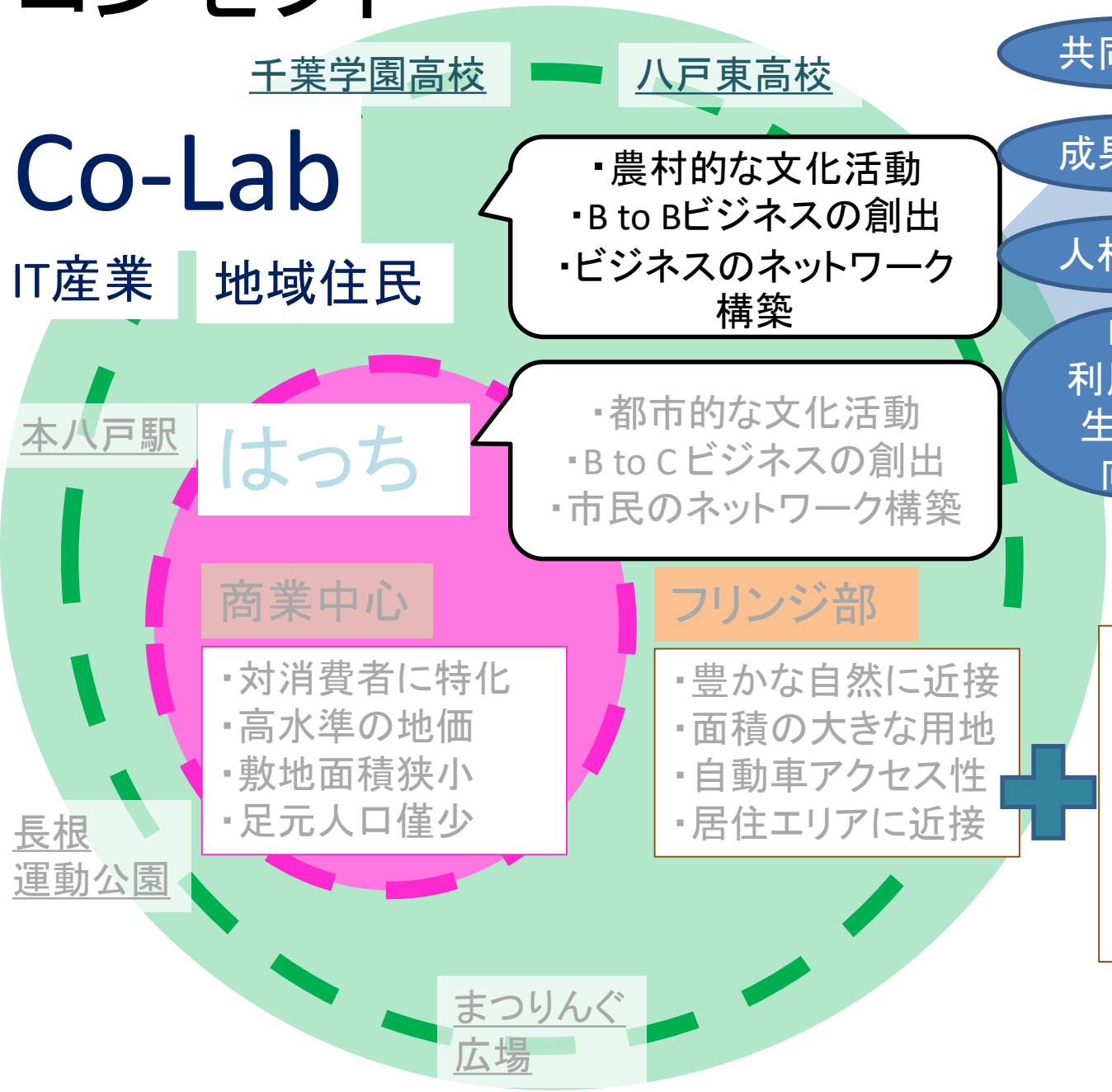
➢ **八戸で生かされていない資源を融合する仕組みを作る**


本八戸駅
商業中心
旧柏崎小学校
N

中心市街地の現状認識


千葉学園高校
八戸東高校
旧柏崎小学校
活用可能性あり！
本八戸駅
はっち
・都市的な文化活動
・B to Cビジネスの創出
・市民のネットワーク構築
商業中心
・対消費者に特化
・高水準の地価
・敷地面積狭小
・足元人口僅少
フリンジ部
・豊かな自然に近接
・面積の大きな用地
・自動車アクセス性
・居住エリアに近接
長根
運動公園
まつりんぐ
広場

コンセプト



共同研究

成果発表

人材育成

ITを利用した生産性向上

デジタルハリウッド大学など地域外の大学

八戸学院大学
八戸工業大学
八戸高専
名久井農業高校
三本木農業高校

農業
漁業
製造業

・イノベーション拠点
・自転車のアクセス整備
・都市農園
・空室空地バンク

施策の概要

フェーズ1：小学校跡地利用	• はちのへCo-Lab
フェーズ2：中心街への染み出し	• 自転車利用の推進 • 空地・空き家マッチングシステム • 高校・大学/地域住民との連携
フェーズ3：郊外・周辺町村との連携	• 空地・空き家マッチングシステム • 高校・大学/地域住民との連携

はちのへ Co-Lab

- 対象地：柏崎小学校跡地
- 立地上のメリット：
  - 中心市街地に比較的近く、賃料は安い
  - 交通の便
  - 住民と近い

はちのへ Co-Lab

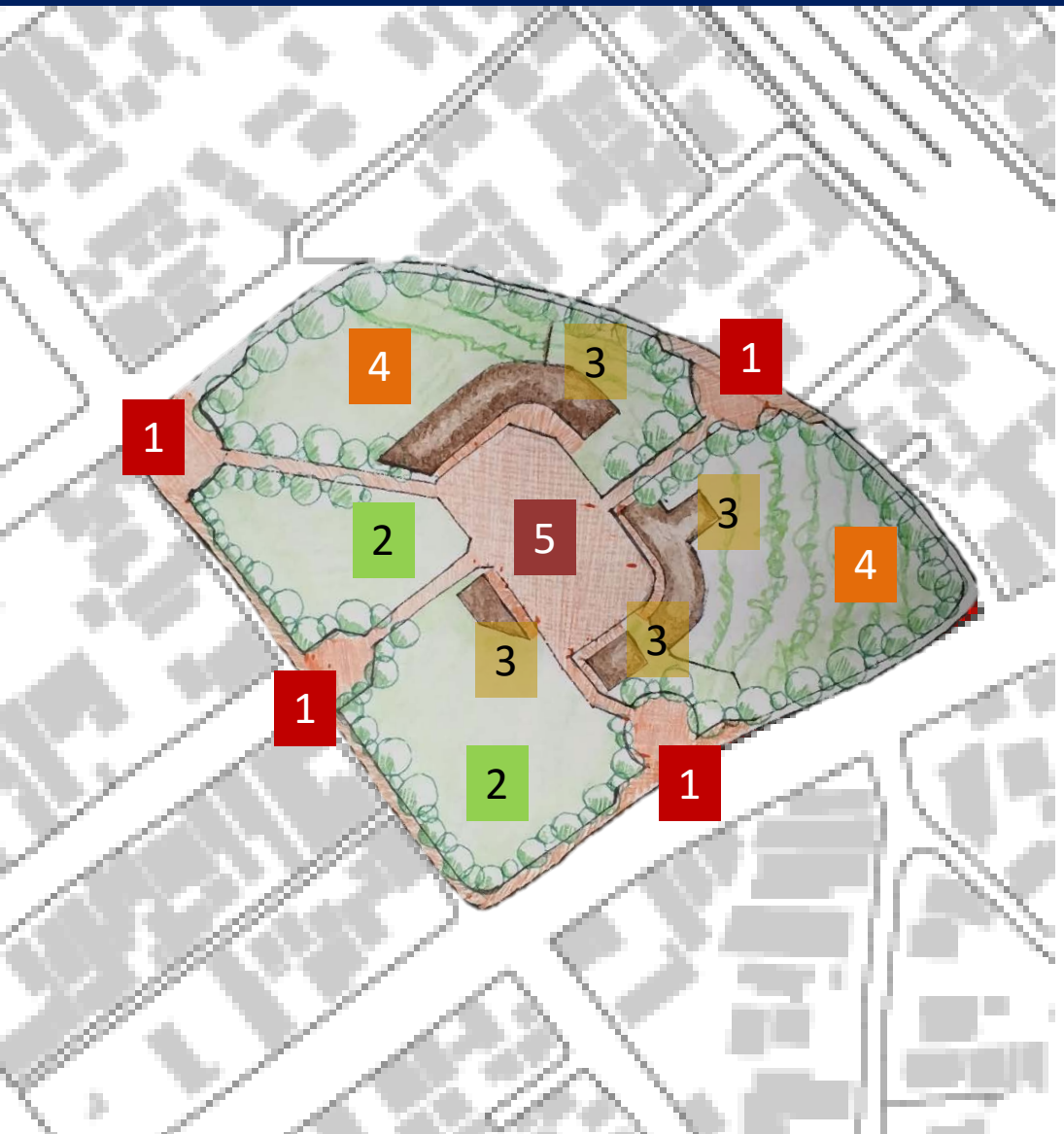
事業にあたっての注意

– 地盤沈下

– 沼

– 八戸の緑地の少なさ

はちのへ Co.Lab



1 入口

- Different access points with unique characteristics

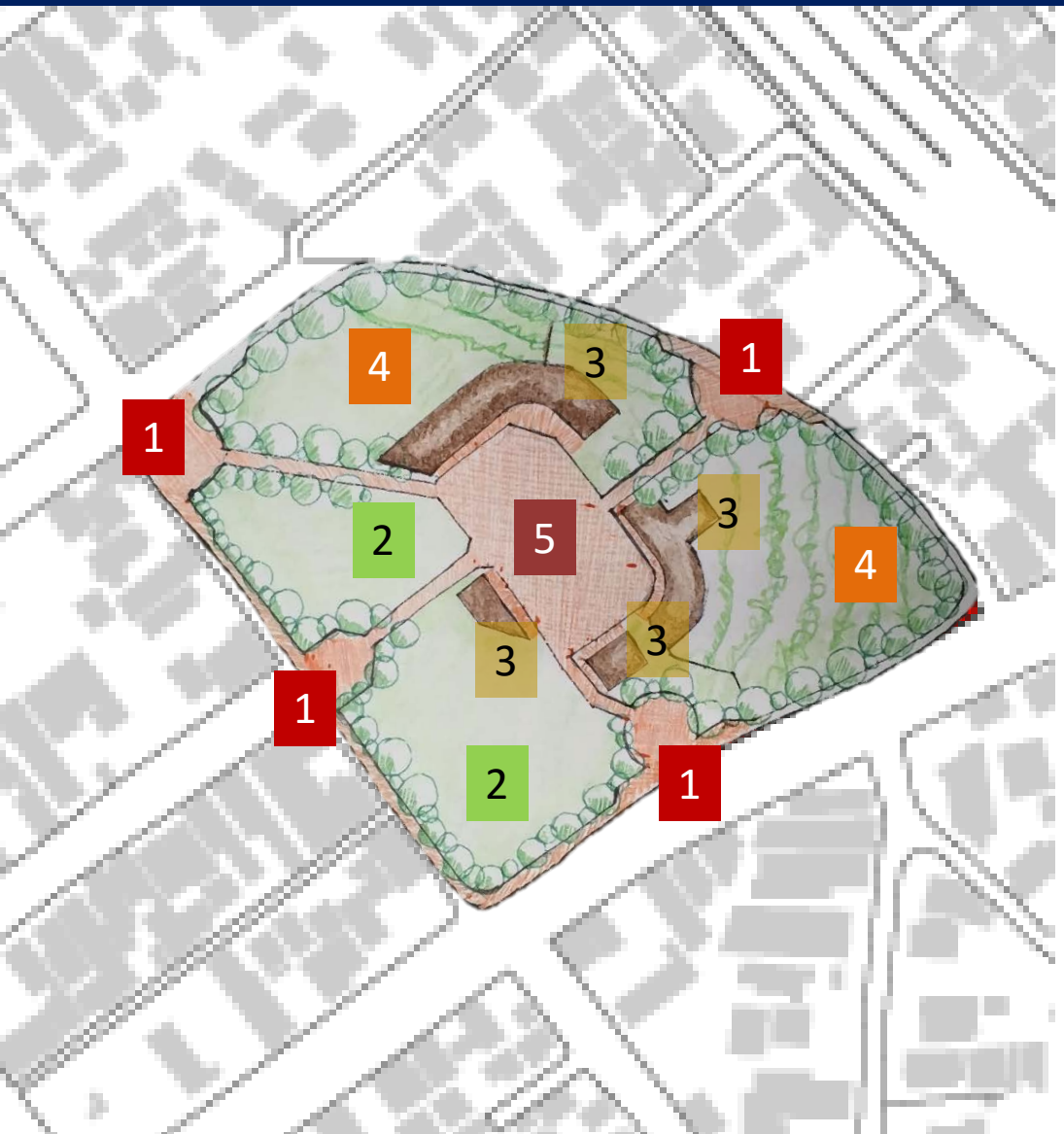
2 緑地

- Considering ground subsidence problem
- Provide activities for local residents and city users
- Add to green spaces in the city

3 パビリオン

- Venue for different activities (e.g. bio café, ecommerce center, etc.)
- Use local and recycled materials (building materials from old school)

はちのへ Co.Lab



4 都市型農園

- Provide space to support research for modern agricultural techniques and promote collaboration with universities, local farmers, and other interested parties

5 オープンスペース

- Provide a flexible space that can host different activities that need huge open spaces (e.g. local disaster drill, machizukuri activities, local farmers market, etc.)

はちのへ Co-Lab

- ✓IT企業などに低家賃でオフィスを貸し出し、先進的な企業を呼び込む
- ✓農業・製造業・漁業等で大学との連携を行う拠点として整備
- ✓上記の機能によりITなどの先進分野と既存分野の交流を促す

フェーズ2・3：敷地外との連携

空間的活用

〇自転車、歩行者の利用促進
→自転車、歩行者専用レーンの設置
→外部の人向け自転車の貸し出し

〇空き家・空地マッチングシステム
→中心市街地の効率的利用
→新たな企業・団体の誘致

Co-Lab

活動の広がり

〇学校との連携
→近隣の大学、高校、専門学校との協力
→新しい技術、アイデア、人材の創出

〇地域の交流拠点
→八戸に住む世代を超えた人々の交流
→はっちのアネックス的役割

Co-Labが拠点となり、周辺の住民・産業・資源を結びつけることでイノベーションを生む。

空間的活用１

自転車・歩行者の利用促進

〇中心市街地における自転車交通の強化

・外から来た人向けに、自転車ポートを設置

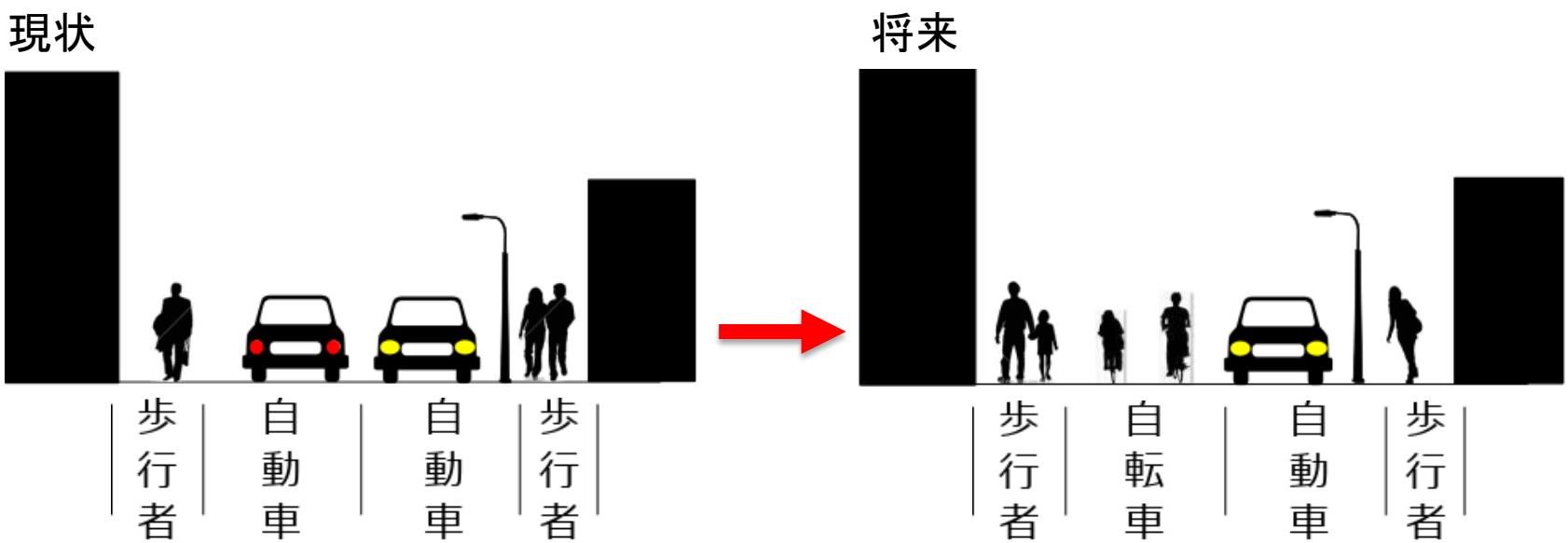
→本八戸駅、長根公園、まつりんぐ広場、Co-Labの４か所

・市街地での自転車の利便性向上＆安全な歩道の確保

→自動車一方通行の徹底や自転車レーンの設置など

・・・市街地のスケールを小さくする。

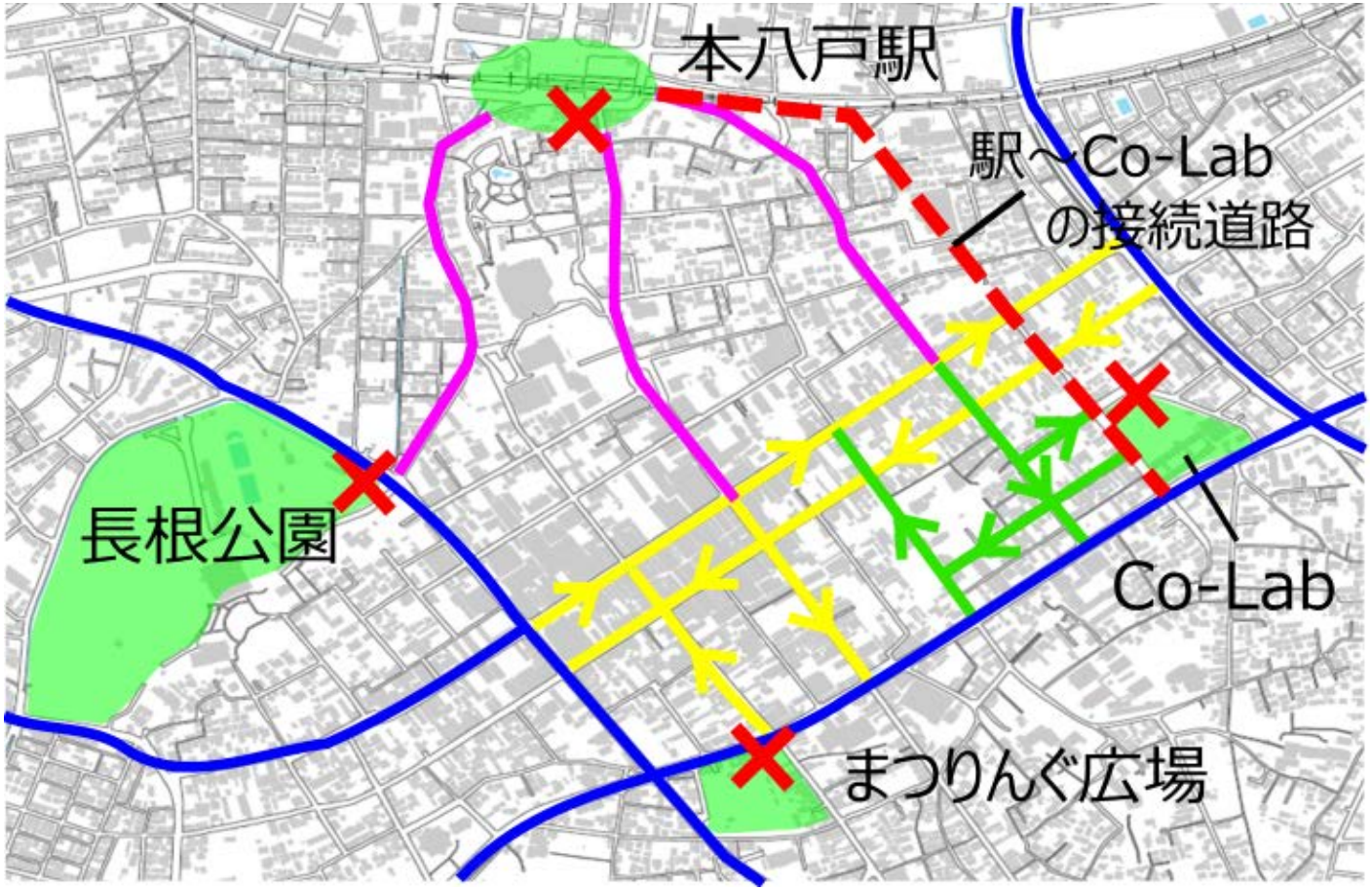
複数のスポットを利用した新しいイベントの可能性も。



空間的活用1

自転車・歩行者の利用促進

動線図



歩行者、自転車優先化

両側通行⇒一方通行化

自転車置き場

既存の一方通行道路

幹線道路

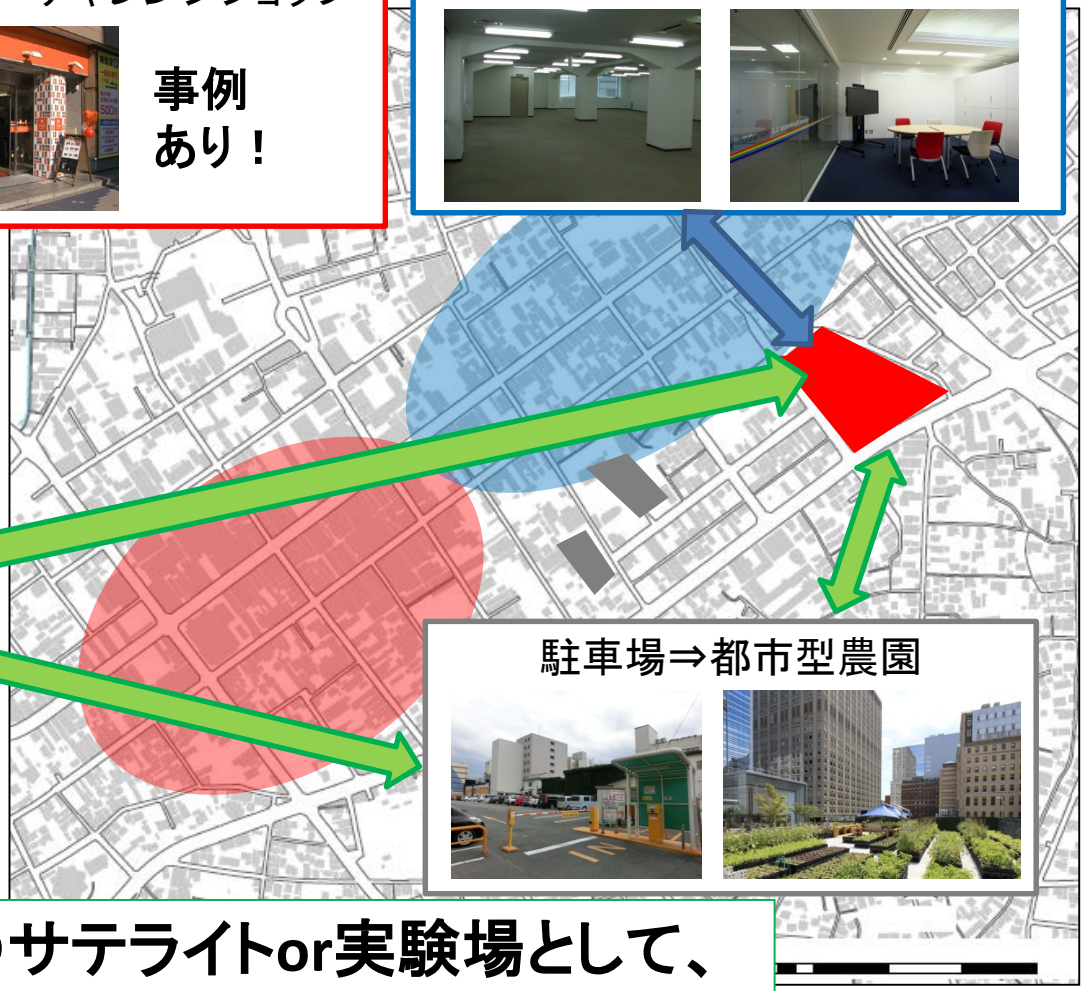
空間的活用2

空き家・空地マッチングシステム

空き店舗⇒チャレンジショップ

事例
あり！

空きオフィス⇒インキュベーション



休耕地⇒新規就農・新技術受入

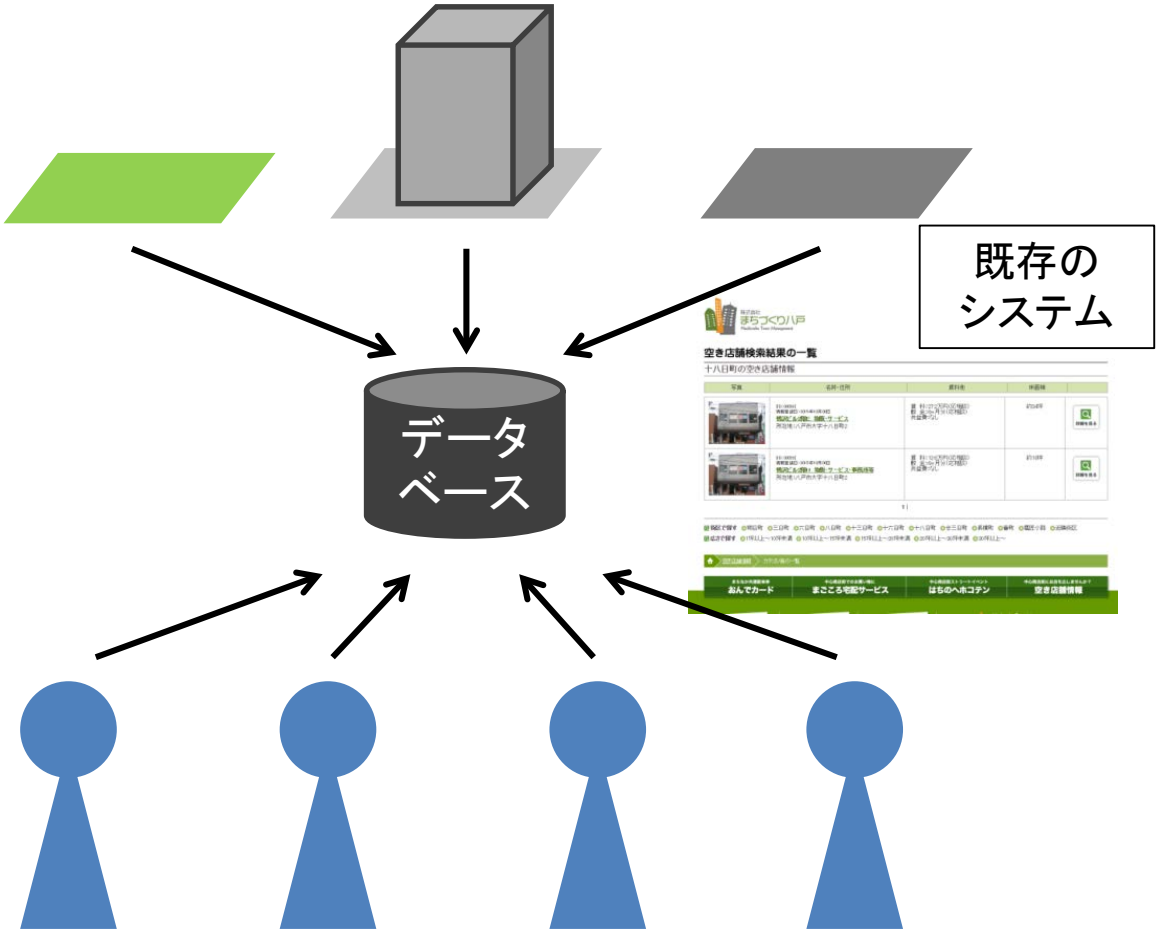
駐車場⇒都市型農園

コ・ラボでの活動のサテライトor実験場として、
市内各地の空閑地を活用

空間的活用2

空き家・空地マッチングシステム

- 既存の空き店舗情報システムを拡大・強化。
- 全市における空き店舗、空きオフィス、休耕地のマッチングシステムを構築。
- 敷金・礼金の支援や賃貸契約の代行など、入居の促進に向けた支援を実施。



活動の広がり

高校・大学/地域住民との連携

＜高校・大学との連携＞

- 創作活動の発表、起業活動、コミュニケーション推進etc.

⇒新しい技術、アイデア、人材の創出

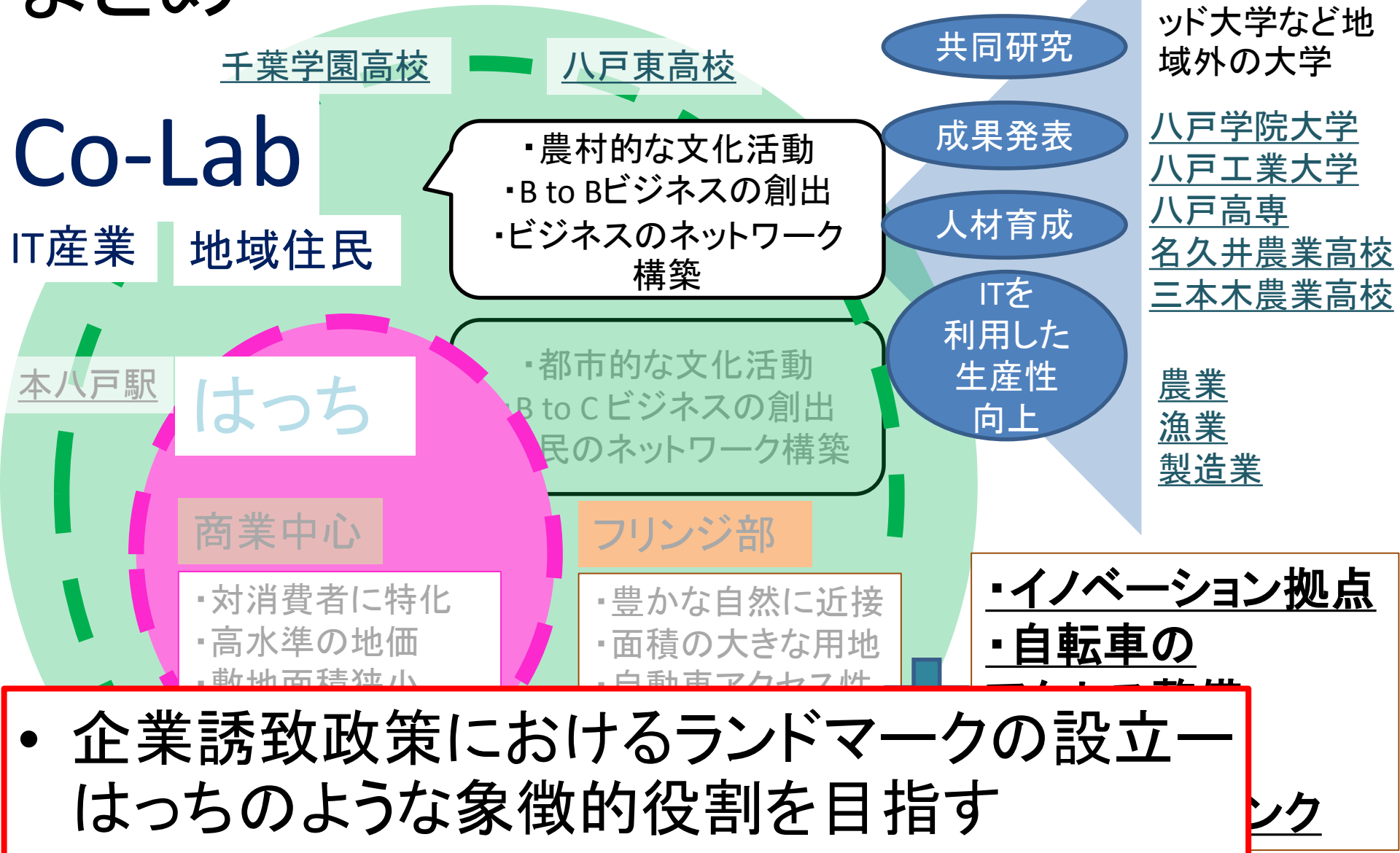
- 近隣の特色ある高校・大学
  - 千葉学園高校：生活文化科、調理科、総合ビジネス科、看護科
  - 八戸東高校：表現科
  - 八戸高専
  - 八戸工業大学
  - 八戸学院大学：ビジネス学部
  - （名久井農業高校）
  - （三本木農業高校）

＜地域住民との連携＞

- 子どもから高齢者までの多世代交流―都市農園etc.
- はっちのアネックス的役割

高校生との連携事例―石巻「」（かぎかっこ）
http://doorwaytosmiles.jp/

まとめ



- 企業誘致政策におけるランドマークの設立ーはっちのような象徴的役割を目指す
- 経済活性化と住民生活向上の両立

POP CULTURE

Planning on Hachinohe

A.Nishimuta (Japan)
K.Sirikhan (Thailand)
H.Artarina (Indonesia)
M.Sasaoka (Japan)
Y.Lin (Taiwan)

POP-cultureとは?

"一般大衆が
広く愛好する
文化のこと"(辞書)

若者が中心的担い手となり
新たな時代の流れを切り開く**新しい分野で**
広く国民に受け入れられている文化"
(外務省の解釈をもとに再定義)

ex:マンガ、アニメ、ファッション、J-POP…

by 竹下通りガイドマップ

by 六本木アートナイト

http://www3.plala.or.jp/sanpo/harajukunew.html

POP-culture の構成要素

(Adapted from: BCCF, 2014)

事例：　Bandung市 （インドネシア）

- コミュニティ内での絆を高め、そこで協力が起こりやすくするため、政策を手段とするのではなく、都市内で
アートや文化の発展を促すよう努める

- 市民の幸福指数を高めるための都市再生事業

"Bandung Creative City"

テーマ性のある公園

One Park, One Community

都市農園

テーマ性のある企画

Bandung Fun Days

都市交通

テーマ性のある祭り

バンドンクリエイティブシティフォーラム

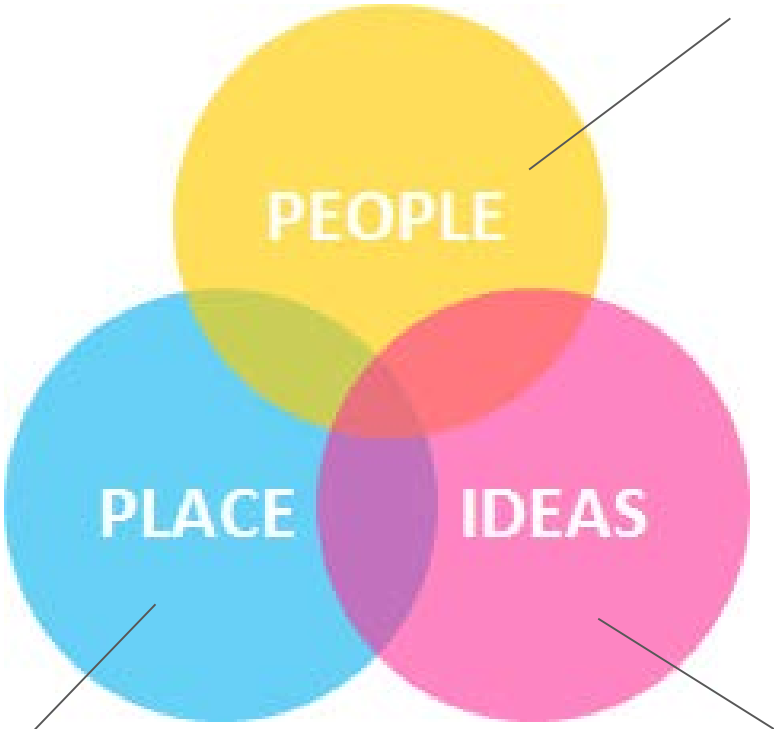
事例：　Bandung市 （インドネシア）

高架下等のネガティブな空間を、全市民が楽しめるようなポジティブな活動で溢れる空間に転換する

Cikapundung River Spot, Movie Park, and Alun-Alun Bandung

八戸のポテンシャル

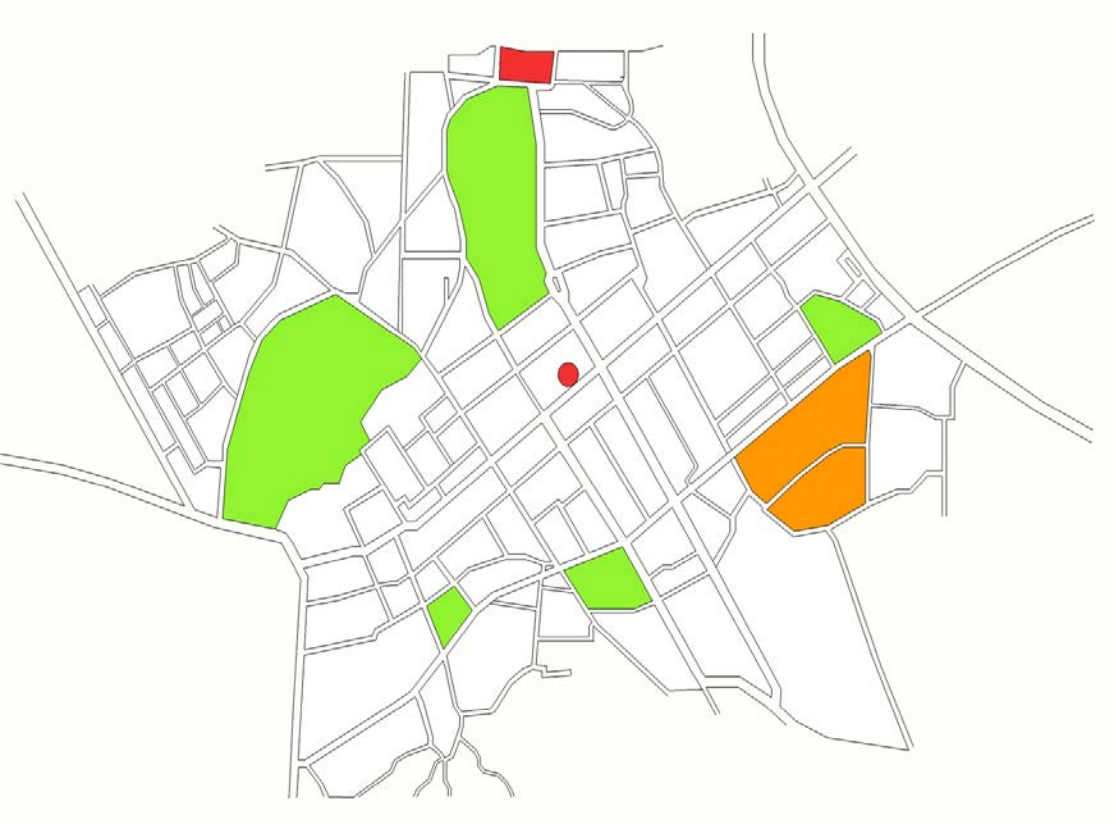
-担い手になる若者
-"まちぐみ"による発信



-豊富なオープンスペース、空き地空間
-都市機能の集積

新たなカルチャーを生み出すには？？

PLACE : 空地とストリート



<u>空地・公園</u>
駐車場・未利用地の存在

<u>ストリート</u>
中心以外は歩きにくい
街路に緑が少ない

Potential Open Spaces

PEOPLE：若者

「若者」とは誰？

高校生

表現科…八戸東高
八戸工業高校
千葉学園高校(女子校)
八戸高校　など

大学生

八戸工大
…情報・土木・デザイン系各学科

社会人

何をする人？

高校生

学校ごとの特色ある活動

大学生

学科での学び
サークル活動
ダンス・音楽…

社会人

アフター5の自主的活動
社会人サークル・趣味の副業…

IDEAS： POP-culture を日常に

POP-culture

ヒップホップダンス
コンテンポラリーダンス
ファッション
クラブ音楽
漫画
ジャズ
カラオケ
DIY
・
・
・

日常化のための手段

ITテクノロジー
　イルミネーション
　プロジェクションマッピング
　SNS
都市への介入
壁面アート
建築物リノベーション
・
・
・

アクティビティ

PLACE × PEOPLE × IDEA

<u>STREET</u>
三日町通り
駅前通り

<u>OPEN SPACE</u>
街中の空き空間
各公園

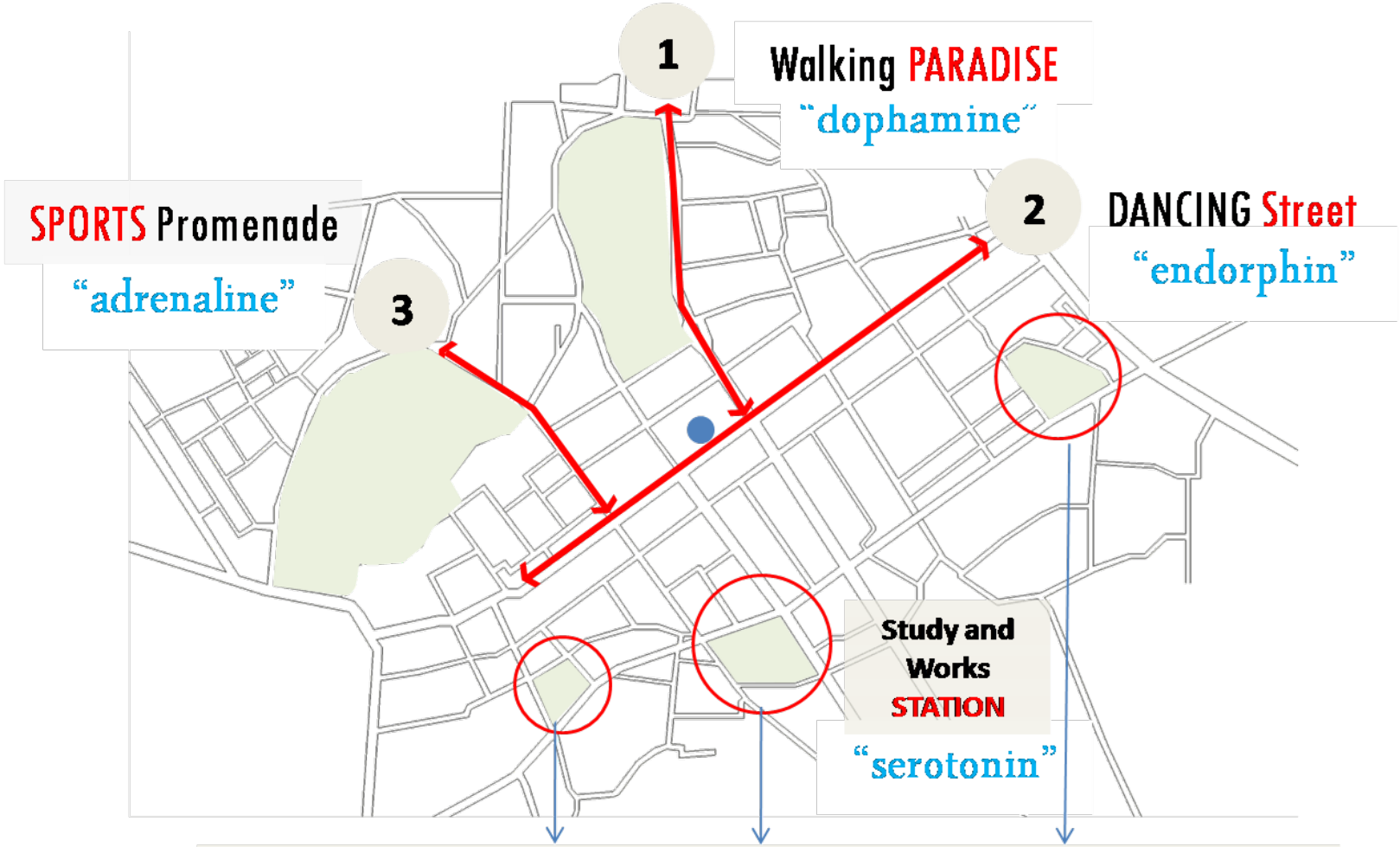
<u>BUILDINGS</u>
はっち
旧建築物
・
・
・

ミュージシャン
パフォーマー
サークルの大学生
建築学科の学生
情報専攻の高専生
表現科の高校生
多趣味なオフィスワーカー
暇のあるニート
はっちに集まる人々
・
・
・

プロジェクションマッピング
イルミネーション
リノベーション
公共アート
音楽/ダンスフェス
フリーライブ
・
・
・

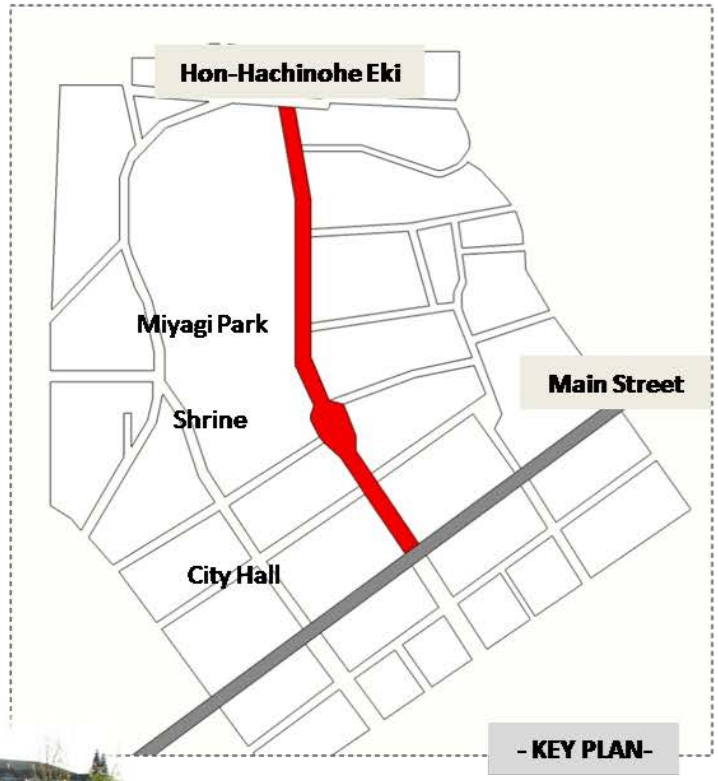
CREATIVE Open Spaces >> Built Environment for Active, Young and Entrepreneurial Communities

CONCEPT > ZONING – FUNCTION > inspired by "HORMONES"



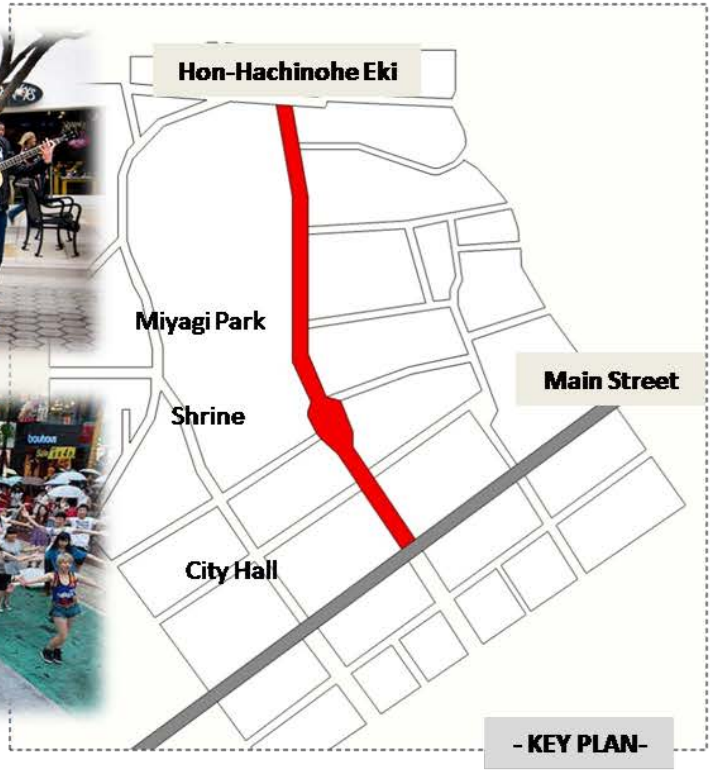
THEMATIC Open Spaces >> to accommodate the creative activites (art performances, art exhibition, potential spaces for young people activities)

1. Walking Paradise



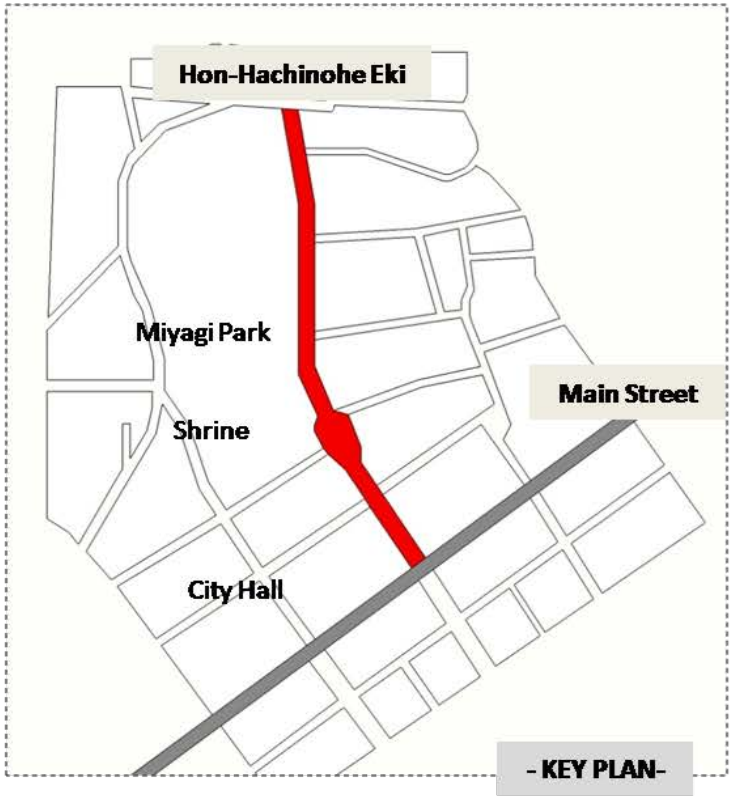
1. Walking Paradise

Street Performances



Food stalls

1. Walking Paradise



2. Sports Promenade

Potential Open Spaces

Potential Open Spaces

Development IDEA

事例：　Bandung市 （インドネシア）

高架下等のネガティブな空間を、全市民が楽しめるようなポジティブな活動で溢れる空間に転換する

Cikapundung River Spot, Movie Park, and Alun-Alun Bandung

Perspective

事例:　Urban interventions（都市の介入）

ー公共空間にクリエイティブな空間が埋め込まれた都市デザインの事例

街路のペイント

BankjesCollectief

Lang/Baumann Artist
ヴェルコラン（スイス）

街頭ベンチの設置・朝食会による緊密なコミュニティ

BankjesCollectief

毎月第一日曜日開催,
アムステルダム（オランダ）

緑の介入

Gran Semana de Lima or Lima's Great Week

リマ（ペルー）

殻状建築物

HÉCTOR ZAMORA

メキシコシティ（メキシコ

システム：若者が八戸に"集まる"

放課後の過ごし方が
パターン化した高校生

郊外のキャンパスに通う
大学生

市街地に来る理由となる新たなアクティビティ

ファッション/ダンス等の大規模イベント参加による求心力

http://strasse.blog.jp/archives/1023333973.html

システム：若者が八戸に”集まる”（プロセス）

⑤継続的運営
文化として根付く

④外部巻き込み
大きな交流へ

③一定期間活動後
イベント開催

②高校の部活/学科、大学サークルに市街地での活動を提案

①場所の整備
・駅前通り
・はっち前広場

事例：よさこい祭り＠札幌

来場者数：214万人

出場チーム数：334チーム(40都道府県)

出場者数：43,000人

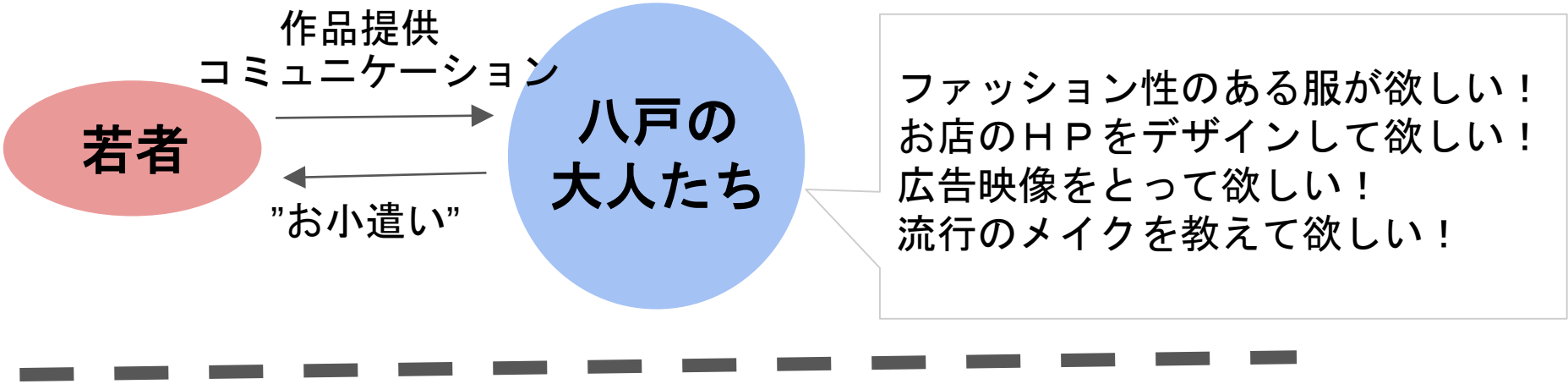
経済効果：230億7900万人

（第14回）

1-4回：**学生サークル**による運営
5-6回：商店街の協賛
7回-：NPO**法人化**
11回-：**株式会社**yosanet設立

by原宿表参道元氣祭り・スーパーよさこい

システム："八の巣プロジェクト"



・学びをアウトプットする楽しさ
・お金を得る
・経験を積む

・何気ないニーズにこたえてもらう
・若者とのコミュニケーション機会

八の巣プロジェクトの拠点

Input

・作業に必要な道具・材料が揃っている
　工具、PC、Wi-Fi、資料…
・若者たちが同じ空間で仕事をし、教えあえる
・プロの市民が教えてくれる機会がある

Output

・作品を世に出す窓口がある
・市民が創作活動を見ることができる
・創作者と市民をつなぐ交流の場がある

by Tech Japan Official Facebook

by 東京デザイナー学院

八戸の未来像

若者のビジネス体験によるスキルアップ
若者がストリートで文化を体現

若者とまちとの**関わり方が多様化**
まちへの**関与度合いが深化**

八戸がポップカルチャーの中心に
育った若者が**ポスト"まちぐみ"**としてまちづくりの担い手に

「新たな戸びらが開く」まちへ…

公園の中にある駅

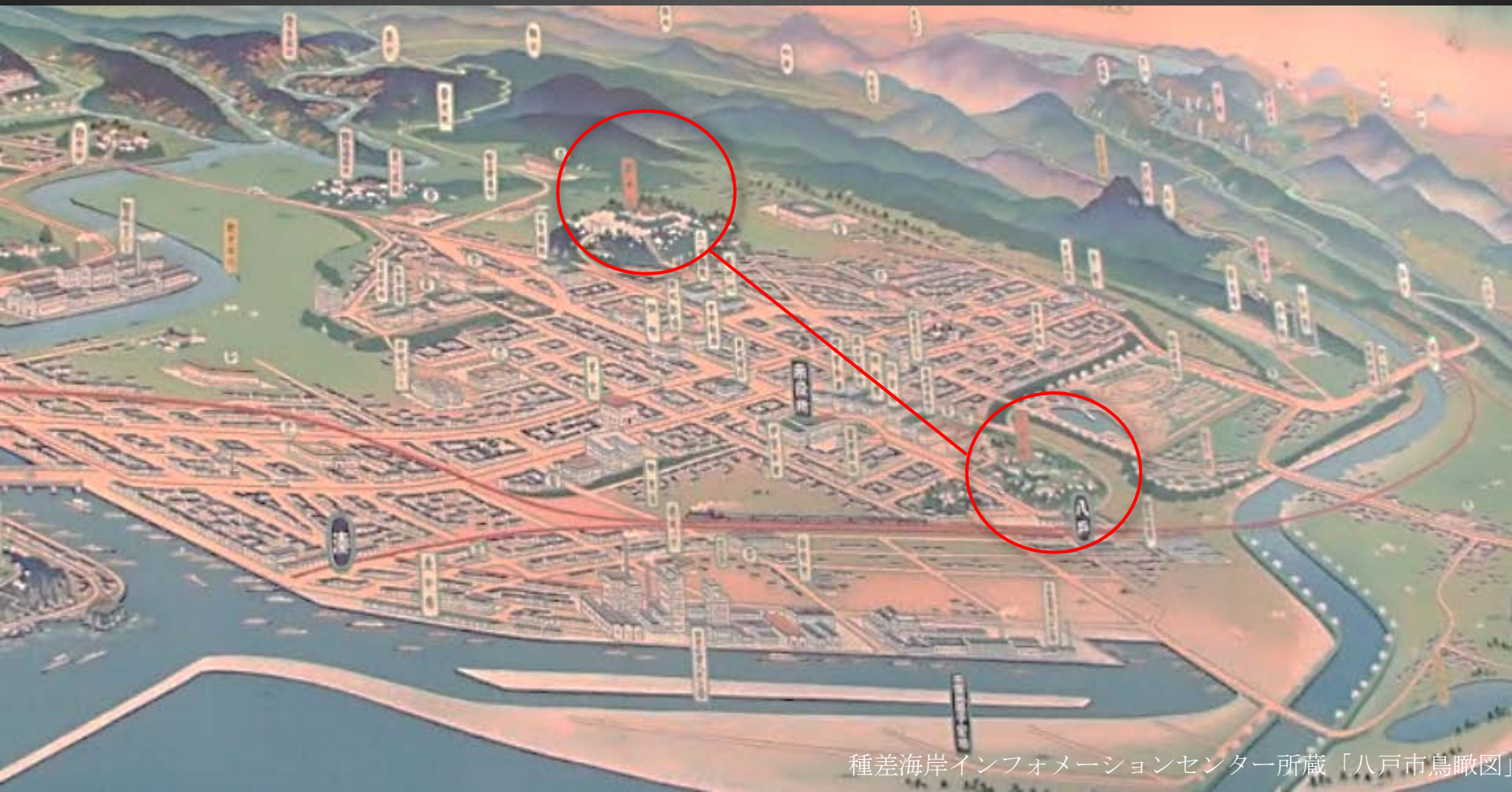
自然・文化・歴史班（M2商、M1山﨑、M1野呂、B3渡辺）

背景

—なぜ公園の中にある駅なのか—

背景—なぜ公園の中にある駅なのか—

1　城下町の面影を残した都市構造



種差海岸インフォメーションセンター所蔵「八戸市鳥瞰図」

背景―なぜ公園の中にある駅なのか―

2　人口減少と空き家の増加

（八戸市住民基本台帳より）

背景―なぜ公園の中にある駅なのか―

3　産業構造の変化に合わせた都市へ

課題へのアプローチ

—なぜ公園の中の駅なのか—

古くからの都市構造を“見える化”し、
工業都市の枠にとらわれない成熟した都市の姿へ

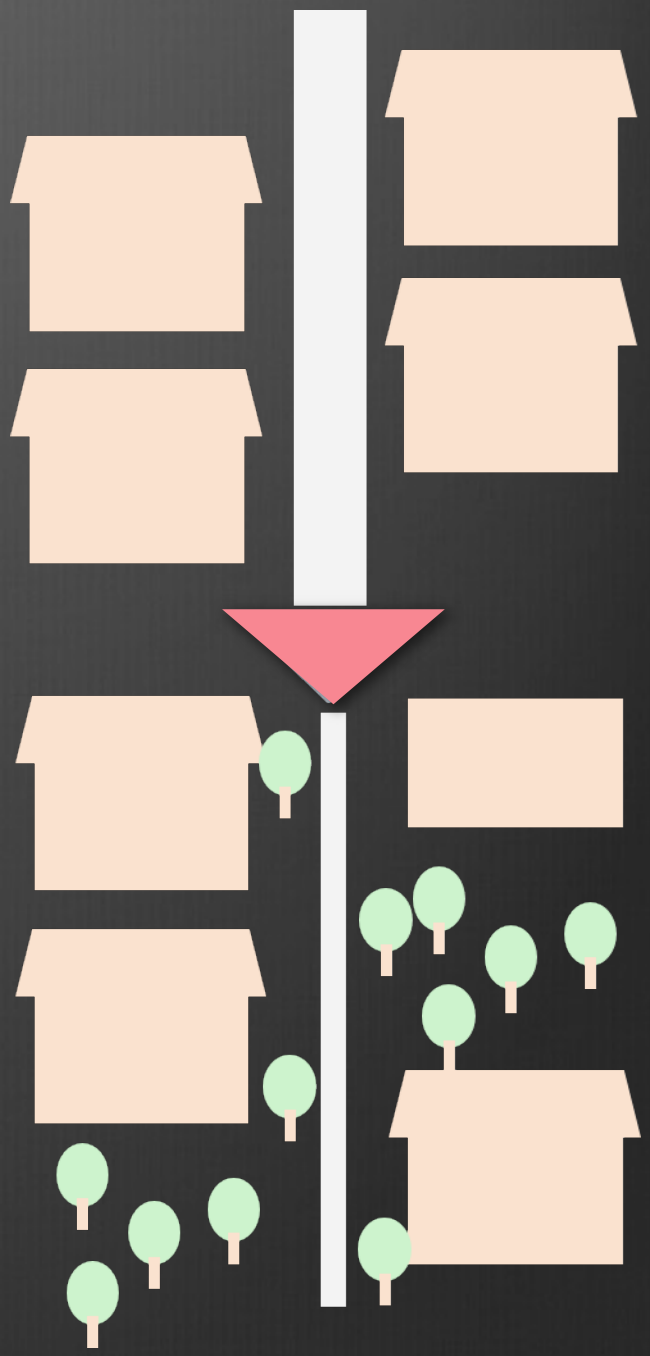
“プチニワ”の導入

空き家・廃墟を利用した緑地・空地の整備

所有者、近隣、行政の協働で、子供やお年寄りでも安心できる“プチニワ”として整備

街路樹の整備

まちの方向性がわかるよう、街路樹を整備。目印になるだけでなく、風や雨をしのぐこともできる。

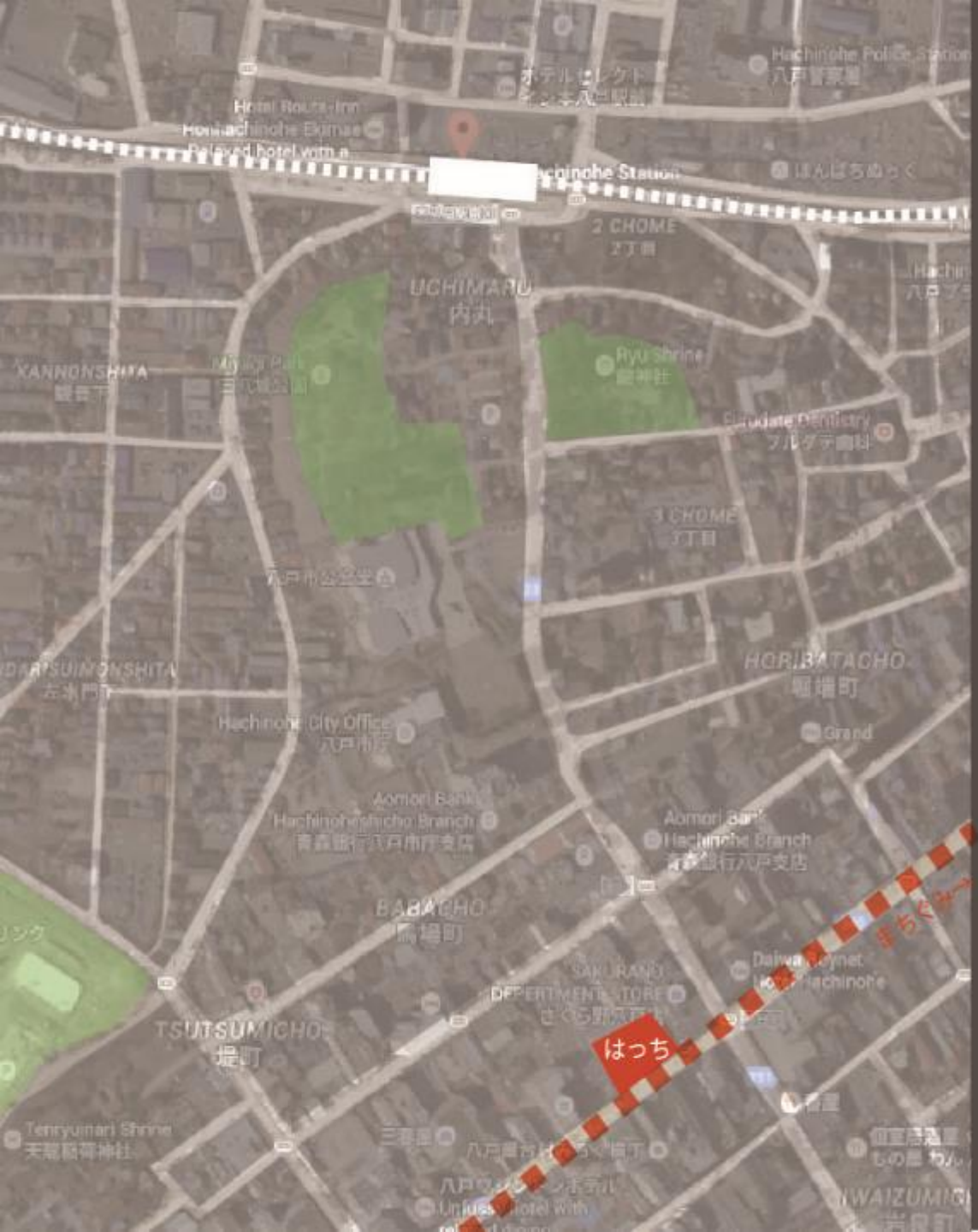


将来の姿

実際の空間にこの提案をどうかかわらせていくか

「近景」 —— 公園の中の駅

公園の中の駅



現状の課題

駅前の淋しさ

駅前に「三八城公園」と神社があるが、駅からは見えない

駅から中心市街地までの道が閑散としている

提案

「公園の中の駅」

駅自体が公園となる

中心市街地まで公園の

緑道が延びる

街の骨格化を可視化し、

風格のある都市へ

改善例

①公園の中の駅

②ホームからの「三八城公園」

④街へと延びる緑

③中心市街地までの賑わい

①公園の中の駅

Site

Before

After

出典：http://www.nga.gr.jp/pref_info/info/miyazaki/20140610.html

（最終検索日：2016年3月9日）

②ホームからの「三八城公園」

Site

Before

After

③中心市街地までの賑わい

Site

Before

After

出典：http://co-trip.jp/article/35714/

（最終検索日：2016年3月9日）

④ 街へと延びる緑 “タコの足”

Site

Before

After

出典：http://tokuhain.arukikata.co.jp/newyork/2011/07/6.html

（最終検索日：2016 年 3 月 9 日）

「中景」——長者山-三八城間

緑の軸

・駅から中心市街地までの寂しい通りは、
八戸における重要な軸

出典：江戸川区ホームページ

・本八戸駅・三八城公園から中心市街地、
長者山新羅神社へ街路樹で結び、
緑の軸とする
→「公園の中の駅」から伸びる「タコの足」

→八戸えんぶり祭や三社大祭のルートであり、八戸が持つ文化の文脈をさらに強める

マチニワ・プチニワ

緑の軸の中央には中心市街地の庭になる
「マチニワ」

出典：八戸市ホームページ「(仮称)三日町にぎわい拠点「マチニワ」」

出典：石巻かほく「空き地活用 ポケットパーク「たちまちオフィス」誕生」

緑の軸を中心に発生した空き地には
「プチニワ」を設けていく
→「タコの足」がまちなかに伸びていく

長者まつりんぐ広場の緑化

長者まつりんぐ広場は広々としているわりに樹木が少なく味気がない

出典：代々木公園

緑化をほどこすことで、
本八戸を貫く緑の軸の支えとなる

地域概念図

第二中
八戸プラザホテル
八戸市役所
天満宮
長根野球場
長根公園
本徒士町
八戸市武道館
八戸荒町局
上組町
たいなか保
みちのく
長者小
平中
長者
青森
秋田
アリス書店
八戸吹揚局

「遠景」　――　周辺ネットワーク

遠景
―サイクリングロードで伸びる“タコの足”―

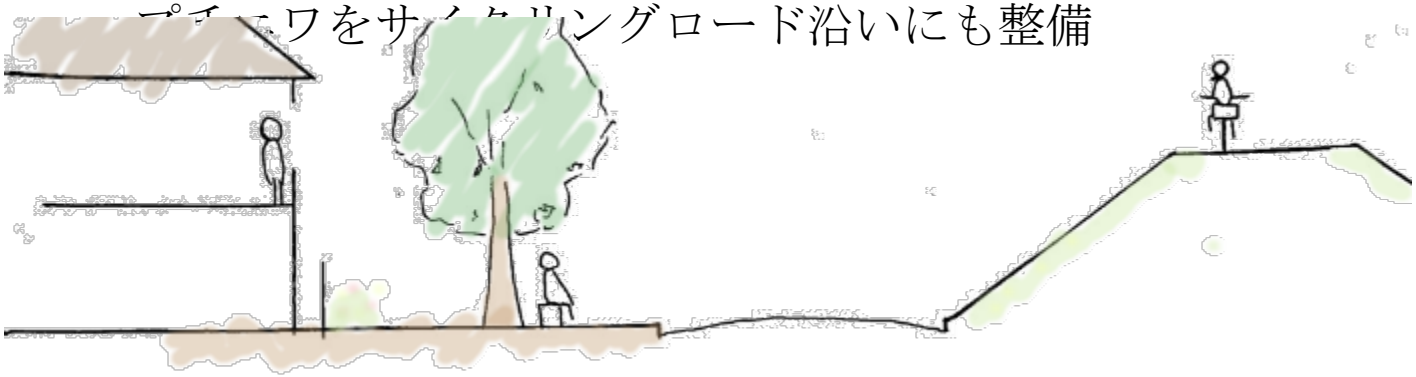
馬淵川・新井田川

櫛引八幡宮や三戸に繋がる馬淵川、是川遺跡や階上岳に向かう新井田川の堤防をサイクリングロードへ

プチニワ

自転車の休憩だけでなく、散歩中のお茶や急な雨宿りにも使えるよう、

プチニワをサイクリングロード沿いにも整備



遠景
―サイクリングロードで伸びる“タコの足”―

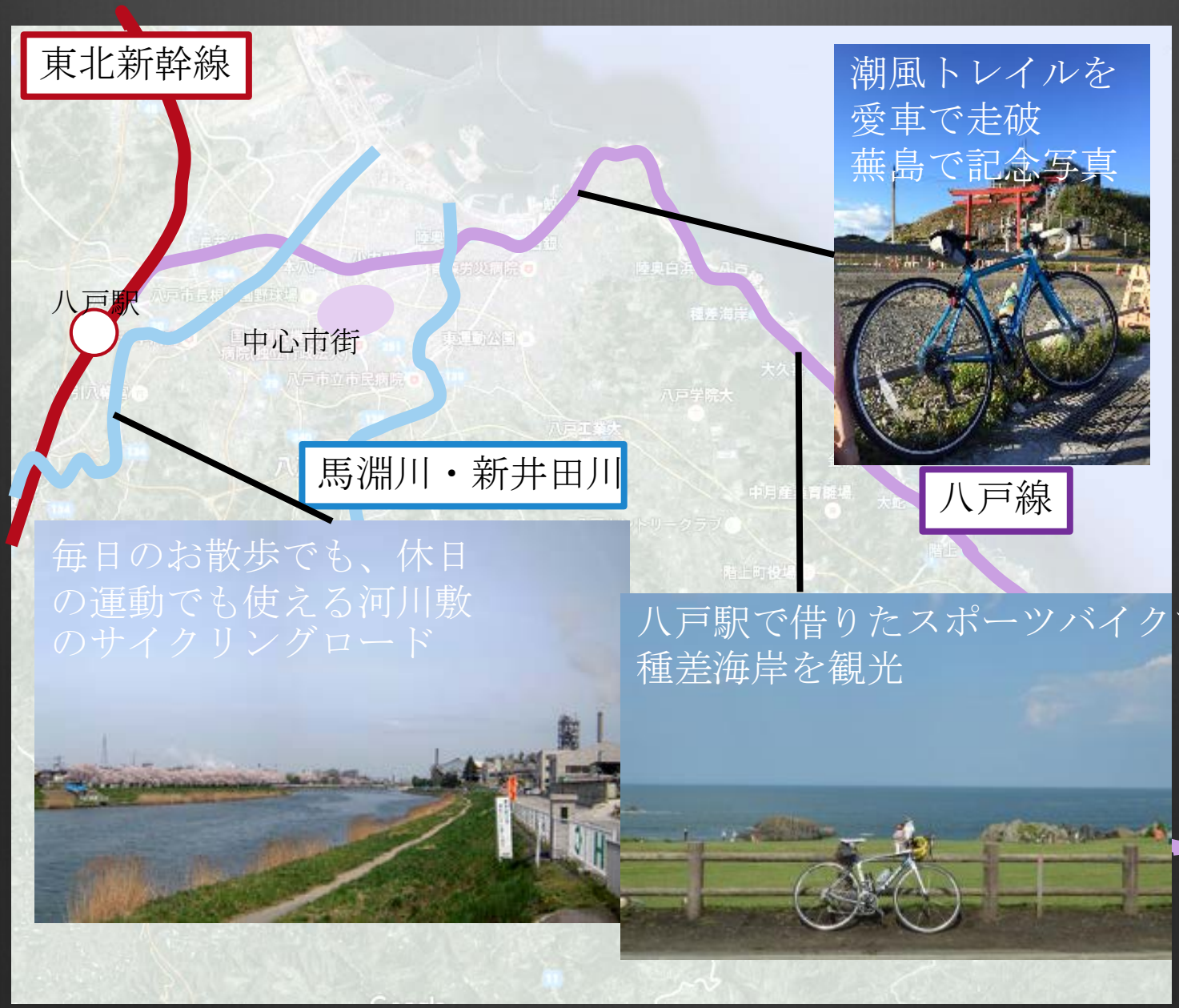
八戸線沿線

基盤整備が困難でも、
標識・ルールを整備し
自転車の聖地に

階上岳ヒルクライム

近郊のサイクルイベントと
連携・協力することで、
自転車の魅力を感じる機会へ

参考：しまなみ海道
http://cyclist.ldblog.jp/archives/40203896.html


東北新幹線
八戸駅
中心市街
馬淵川・新井田川
八戸線
潮風トレイルを
愛車で走破
蕪島で記念写真
毎日のお散歩でも、休日
の運動でも使える河川敷
のサイクリングロード
八戸駅で借りたスポーツバイクで
種差海岸を観光

まとめ

人口減少をポジティブに捉え、まちの風格を取り戻し、ひとの創造性を盛り上げることで、魅力的なまちを目指します。

近景
—公園の中の駅—

中景
—緑でつなぐ古くからの都市構造—

遠景
—サイクリングロードで伸びる“たこ足”—

全体まとめ

人口減少、産業の衰退…

魅力ある都市としてヒトを惹き付ける東北の拠点へ　反転攻勢！